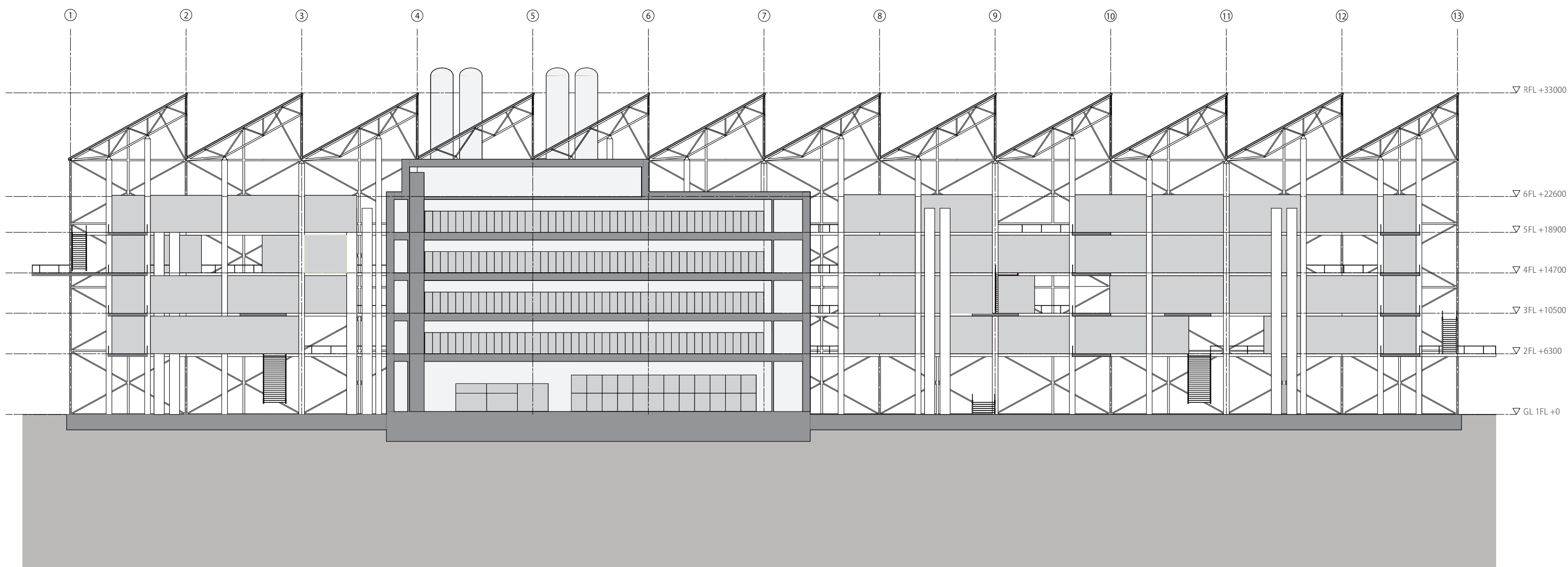


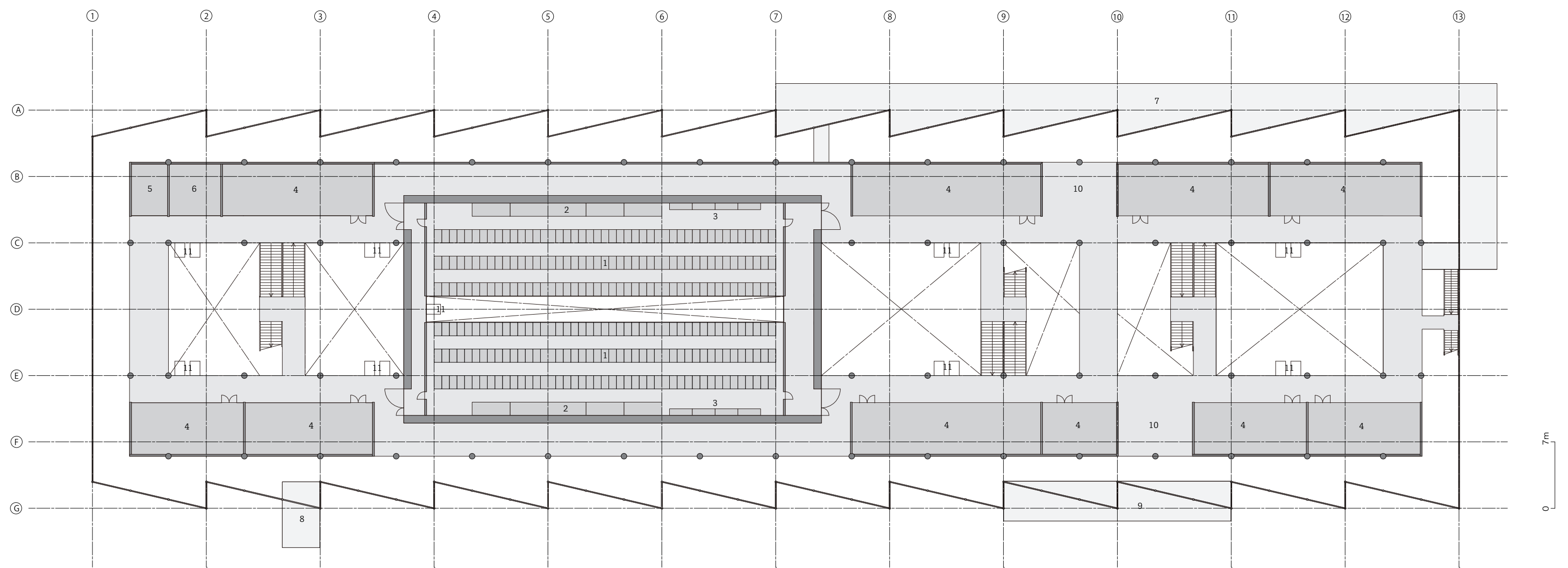
CONCEPT

横浜の埋め立て地、湾岸の工業地帯として工場や物流センターが立ち並ぶ敷地に、科学技術の研究所を設ける計画をした。利用形態としては、法人に対するテナントを想定しており、業界の異なる様々な企業が参加することで、異業種間の学際的な研究の促進効果を期待している。共用の工作機械やスーパーコンピュータといった研究施設を完備し、データセンターや図書館といった情報保存のための資料保管庫としての機能も持つ。

埋立地は都市の拡大の歴史であり、都市による自然への挑戦と野心の表れである。都市の巨大な生命維持装置である工場や発電所は、人間の身体スケールを無視した設計行為の足跡であり、自然を超越する強靱な躯体は厳然とした神秘性を漂わせている。研究所の設計にあたって、機械のための建築である工場的な要素を取り込んだ上で、それを研究所という人間のためのワークスペースと親和させる計画をした。研究室で構成される建築物の外内に、オーバースケールの工場のエレメントを過剰に読み込み、設計に反映させている。



0 12m 1:400 SECTION



- 1 サーバールーム
- 2 空調
- 3 分電盤
- 4 研究室
- 5 男子トイレ
- 6 女子トイレ
- 7 テラス(2F)
- 8 関係者エントランス(1F)
- 9 一般エントランス(1F)
- 10 休憩スペース
- 11 EV

0 12m 1:400 3rd FLOOR PLAN